



新年のごあいさつ

大館市長 佐藤 敬 治

市民の皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は本市で東北市長会総会をはじめ、全日本社会人ウエイトリフティング大会さらには市制施行以来はじめての種苗交換会等が相ついで開催され、多彩な行事に明け暮れた年でもありました。

しかし、これらの各種行事に追われつくしたなかでも、市の主要施策は着々と基礎づくりに向けて進展して参りました。

さて、新年を迎えるにあたり、年頭感慨の改まる思いであります。大館市にとって今年、近代都市としての形をつくる最も大事な年になるかと思ひます。

全国的に脚光をあびた銅鉱床の開発もすでに本格操業に入り、今年各社

の生産目標も年産80万4千トンも見込まれており、黒鉱の開発は日増しに明るい曙光を見出ししております。

また、これに関連した産業の育成、さらには、これらの関連産業の誘致等には全市民のご協力のもとに、全力を傾注して本市の発展に寄与したいと考えています。

市政にあっては、昨年から継続されている環境の整備、道路、橋の整備、学校教育施設の充実等に全力をそそぎ市民生活に身近な市政をおこなうことに最重点をおきながら、市の発展のために努力する覚悟を新たにしておりますので、市民の皆さんのご協力を心からお願い申し上げます。

年頭にあたり、私の所感をのべ、皆さんのご健康をお祈り申し上げます。



大館市議会議員

渡部 綱 次

新年おめでとうございます。

ここ2・3年、人の和による静かで清潔な街づくりを目標として努力してきましたが、昭和41年は大館市にとって、いままでと違った新市建設の基礎づくりの年となることと思ひます。

北鹿地区の黒鉱開発が進むにつれて精練所や関連企業の誘致、あるいは現産業と新企業との調和振興計画の策定また、これらの産業経済活動と市民生活の接点から起る公害(鉱害)排除の道を求めて、市民の経済活動を盛んにし、所得上昇の基盤づくりに邁進しなければならないと思ひます。

こういう市の自然的、経済的環境を育成して、明るい豊かな大館市建設のために、全市民の理解ある協力と、和のもとにあらゆる政治力や経済力の結集を念願し、年頭の挨拶といたします

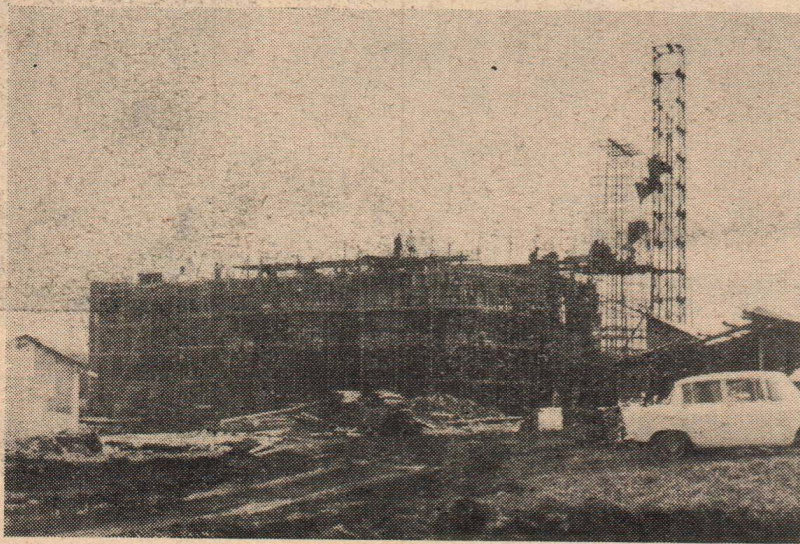
写 真

急ピッチに工事が

進められる南中学校校舎

順調に進む本年度の重点施策

その3 教育の振興



954千円に達している。

おもな内容を見ますと、杉沢小のプール建設に170万円、有浦小の窓口整備に60万円、雪沢小の非常階段に405800円、城西小の薪小屋新築に375000円、長木小の下駄箱取替に314500円がそれぞれ投じられ、このほかにも、真中小、釈迦内小、などの各学校でも体育設備等が完成しています。

一方、中学校関係では、特別教室をはじめ、各施設の増設が目立ちます。

すでに完成した特別教室などをみますと、一中に340万円で工作室、成章中には180万円で家庭室、雪沢中には226万円で工作室、長木中には、31万円で労務員室、水道の増設がなされています。

このほか、二中、三中、真中など、ほとんどの学校でも更衣室や足洗場の増設しており、いままで、市内の各中学校に費やした経費は10,634千円に達し学校関係の設備拡充には例年にない進展ぶりをみせております。

一方、社会教育としては、家庭教育を核とする、成人教育、農村青年の生産学習、婦人学級、各リーダーの講習などに主眼をおき、中央公民館をはじめ7つの公民館と2つの分館が中心になって活発な活動を進め、新しいまちづくりのため着々とその成果を上げています。

戦後の学制改革、過去3度にわたる大火など、苦難の道を行ってきた市の教育行政も、年を経るごとに施設の拡充のもとに教育の効果を高めてきた。

33年には3つの小学校を統合し、昨年は二井田、真中の両中学校(南中学校)を統合し、すでに校舎建設にとりかかっている。

南中学校は総額8,940万円を投じ鉄筋コンクリート、3階建て(普通教室11室 特別教室10室)の近代的な校舎を3ヶ年計画で建設するもので、40年度においてはさしあたり、27,29

7千円の予算のもとに

1階 労務員室、宿直室、保健室、放送室、教員室の一部

2階 被服室、普通教室2室

3階 図書室、普通教室1室、昇降口などの教室が完成することになっておりその工事がいま急ピッチに進められています。

このほかに、40年度の重点的な施策の中に各学校の設備充実をあげて着々と諸工事が進められている。

小学校関係のみでも、すでに25ヶ所で工事が終了し、このための支出額も4